

2015

12月号

あさお市民活動レポート

平成27年度麻生区地域課題対応事業
「あさお市民活動レポート」第2巻 第13号
発行日：平成27年12月1日
発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

あさお ふさわ

Asao
friends

発行元：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

CONTENTS

第5回「やまゆりクラフト展」開催	1
しらゆり会	2
クラフト美咲	2
ボランティアグループ ハーモニーの会	2
サークル花便り	3
千代ヶ丘 絵手紙	3
からまつ工房	3
麻美会	4

第5回「やまゆりクラフト展」開催

「芸術の街・あさお」にふさわしい
鑑賞+体験+交流ができる楽しいイベント！

今年で5回目となる「やまゆりクラフト展」が、10月31日(土)・11月1日(日)の2日間にわたって開催された。

両日とも天候に恵まれ、お隣の昭和音楽大学の「学園祭」と重なったこともあり、延べ350名ほどの人々が会場を訪れ、優雅に芸術の秋を堪能された。

この「やまゆりクラフト展」は、出展団体のレベルの高さでも有名。各団体の体験コーナーでは、さまざまな作品づくり体験もでき、あちらこちらででき上がった作品を褒め合う姿も見受けられた。

会場内には、ハーブティが飲める喫茶コーナーが設けられ、展示者や来場者が作品を通じて交流や情報交換ができるのも、この展示会の大きな魅力となっている。

「2日にわたって、ステンドグラス・絵手紙・版画・陶芸・フラワーアレンジメントと全ての体験を楽しまれた方もいらしたんですよ」と笑いながらリーダーの名越さんは語られた。

本レポートでは、今回、新しく参加された団体・個人を紹介させていただいた。



毎回好評のレモンガラスとカモミールのハーブティ

からまつ工房の布人形と楽描きの会会員さんのコラボ作品



版画作品の版木や工程も展示



フォトレポート

会場には参加団体の見事な作品がズラリ



大盛況だった体験コーナー

しらゆり会

和紙で折りなす造形美

会場には、色とりどりの折り紙の作品が飾られ、華やかでした。

作品はどれも、正方形の和紙を折ってパーツをつくり、台紙の上に貼って仕上げていく。不必要な折り目をつけると直せないし、見苦しくなるので細心の注意をはらう。最初に先生がお手本を示してくれるので安心だ。

気のおけない熟女ばかりで、和気あいあいと楽しんでいる。作品を見て感動して入会する人が多いとか。一度連絡してほしい。



配色とデザインが見る人の心をうつ
(左から、つつじ、立ち葵、パンジー)



かわいらしさにあふれて心が温まる
(左から、ひな人形、干支のひつじ、クリスマスツリー)



秋色の柿、とまつたトンボが優しさをかもし出す

しらゆり会

ありた
代表：有田イツコ
連絡先：Tel. 044 - 987 - 7342
設立：2007年
会員：12名（女性：12名）
入会金：なし
会費：1800円/1回（内800円は材料費）
活動日時：第2木曜 13～17時
※場所がとれた場合
活動場所：麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 中島久幸

クラフト美咲

手軽にはじめるスタンドグラス

その一角は、静謐な夜空に輝く星々のような光に満ちていた。スタンドグラスの美しさは、一体どこからくるのだろう。

クラフト美咲は、手軽にスタンドグラスの作成が楽しめるサークルである。講師の栗山さんは、20年を超える経験者だが「ガラスのカットやハンダ付けに苦労しながらも、作品を完成させていく生徒さんの嬉しそうな笑顔を目にするとき、多分、私の方がもっと嬉しがっていると思います。」と語る。

クラフト展当日は500円で製作体験も実施。多くの参加者が好みの色ガラスを選び、作品作りに挑戦した



不定期ながら体験教室も開催されており、簡単な作品ならその日のうちに完成することができるという。



静かに、しかし、しっかりと訴えてくる個性的なスタンドグラス

クラフト美咲

くりやま みさこ
代表者：栗山 美佐子
連絡先：Tel 090-8948-2016
mail kuriyamas@yahoo.co.jp
設立：2002年6月
会員：12名（女性12名）
会費（参加費）：1回1500円
入会金：なし
活動日：第3木曜
活動場所：王禅寺東（2016年1月から川崎市中原市民館でも予定）
そのほか、不定期に1日体験講習実施

取材・文 区民記者 仲原照男



あざやかな色あいが心をウキウキさせる♪
デザイン羽子板（左）とバラ（右）♪



奥行きを感じる細かな細工が目まぐるしく、ヨーロッパの収納庫の様子

ボランティアグループ ハーモニーの会

驚きのワザを、あなたのものに

思い思いの絵画が、シャドーボックス（注）という技法で緻密で立体的な絵に仕上がりが、見る人に感動を与える。同じ絵、6枚から10枚を細かく切り取り、微妙な膨らみをもたせて重ね貼りすると、絵に奥行きと陰影が生まれる。素人にはその仕掛けが分りにくいので、展示された作品に顔を近づけ、目を凝らす人が多かった。

来年6月には「やまゆり」で展覧会を開く予定。ぜひ訪れて欲しい。

（注）18世紀のヨーロッパ貴族のお遊び

色づかいとデザインにセンスのよさを感じさせる。富士山、桜、スカイツリーなど



ボランティアグループ ハーモニーの会 (シャドーボックス)

みやもと かずみ
代表：宮本 和美
連絡先：Tel. 044 - 951 - 2831
設立：2006年1月
会員：14名（女性：14名）
入会金：なし
会費：500円/月
1000円/回（参加の都度）
活動日時：2回/月（場所が取れた都合）
活動場所：麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 中島久幸

サークル花便り

お花で癒やされ、脳も活性化

サークル花便りは「クラフト展」初参加。フラワーアレンジメントや押し花作品を作るサークルである。販売されていた作品はもちろん、そのほかの作品も、サークル活動の成果とは思えないものばかりだった。作品を眼にした来館者から「素敵～」とか「これ欲しい～」という声がかかれたのもうなずける。

講師の森下さんによれば、フラワーアレンジは決して難しいものではなく、脳活にも有益だという。確かに講師の

作品展示。クリスマスリースやお正月飾りも



かた、生花のアレンジメント作り体験に取り組んでいた方達の誰もが、とても生き生きしていた。



コルクのトナカイ作りや、フラワーアレンジメントの体験講座も実施

サークル花便り

もりした えりこ
代表者: 森下 恵理子
連絡先: Tel. 090-2248-4387
設立: 2007年9月
会員: 5名(女性5人)
会費: 5000円/月
入会金: なし
活動日時: 月1回
活動場所: 麻生市民交流館やまゆり
 または代表者宅(王禅寺西)

取材・文 区民記者 仲原照男

千代ヶ丘 絵手紙

豊かな発想で、和気あいあいに楽しもう！

絵手紙は、ふつう主題を誇張して、用紙からはみ出んばかりに絵を描くことが多いが、展示された作品は、切り絵と組み合わせたり、文房具を利用して立体的に仕上げたりと、ユニークな発想の作品が目立った。

普段の活動は絵を描くだけでなく、病気の話、お医者さんの話、お薬の話、旅行の話などワイワイやっている。

絵手紙の楽しさ、面白さ、手軽さを知って、生活を豊かにしたい方。一度のぞいてみてほしい。

信楽(しがらき)タヌキの夫婦。タヌキは「他」を「抜く」の意味から、商売繁盛を願って店先などに飾られる



千代ヶ丘 絵手紙

いしかわ いくこ
代表: 石川 郁子
連絡先: Tel. 044-955-8032
設立: 2000年
会員: 10名(女性:10名)
入会金: なし
会費: 1200円/月(内200円は室料)
活動日時: 第3火曜10~12時(火曜日組)
 第1金曜13時30分~16時(金曜日組)
 ※いずれも場所がとれた場合
活動場所: 麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 中島久幸



こっけいなダルマの数々。発砲スチロールの球に赤い和紙を貼り、奇妙な表情を描いた



千支の年賀状。広告の模様を生かして手でちぎり、味のある作品が生まれた

からまつ工房

陶芸と布人形 ~生活を潤し、心を癒すもの~

からまつ工房は、岩田輝夫さんと岩田恵美子さん夫妻が主宰する陶芸と布人形の会である。夫の輝夫さんは、在職中から陶芸が大好きだったが、リタイア後は別棟を構え、思う存分腕をふるっているという。

輝夫さんは神奈川美術協会、麻生区文化協会にも所属し、地域の文化活動に貢献。さらにクールアース推進委員会から依頼され、自然エネルギーの活用や温暖化防止活動について、学校での出前授業も行っている。

恵美子さんは毎月2回、5人ほどの会員の方と布人形を制作。クラフト展に展示された人形たちは、作者の人柄を反映し、どの作品もあたたかく、癒しのオーラに満ちていた。

お二人の作品は、友人・知人を招待して開催される即売会で手に入れることもできる。価格は購入者の自由というユニークな販売会で、前回の売上は東日本大震災の被災者のために寄付された。

「からまつ」の名は、ご主人が夏を過ごす工房がからまつに囲まれているから、とのこと。来年3月に開催される麻生文化協会の美術展でもからまつ工房の作品が展示される。岩田さんの名前に要注目である。

取材・文 区民記者 仲原照男



突撃レポート

麻美会

～Background(背景)～

描くことに夢中になる…それはなぜですか？

麻美会は、発足して26年の歴史を誇る絵画サークル。麻生老人福祉センターで活動している。

訪ねた日は、テーブルに秋を感じさせる題材。しかし、前回デッサンしたモデルの絵に色を載せている方もいる。水彩、油彩、パステル、なんでもOK。自由に取り組んでいる。入会を機に、描くことを「初めて、始めた」メンバーが多いという。

この日の題材を準備したのは、石橋信和さん。収穫祭を意識して選んだのは、季節の野菜・それを包んできた新聞紙・来る途中で拾った落ち葉。「レイアウトが決まるとモチーフの表情が変わる」と、イメージの膨らみや意外性を楽しむ。



在籍20年の佐藤秋子さん。「道具は孫のお古。お金をかけずに楽しめて宿題もなし。だから長続きしている」と話す。講師のアドバイスを受けて、カボ

チャとさつま芋はさらにおいしそうな色合いになった。



小泉一明さんは「陰影や奥行きの方を知りたい」と2年前に入会。トレッキングの際も、学んだことを活かしながらスケッチしているという。そして今、「あらゆる点・線・面を、太い筆一本で描く技を習得したい」と張り切っている。



代表の小山光明さん(86歳)は、リタイアして趣味にと選んだのが水彩画。「手取り早くて汚れないから」と笑って言ったあと「自分の想いに没頭しながら、背景の色と塗り方を考えていると、無限に広がる自由と可能性を感じて幸せな気分になる」と、意味深い言葉を続けた。

皆さんそれぞれに、自分の楽しみ方を見つけ、充実した時間を過ごしている。



←「アドバイスは、個性豊かな作品に仕上げるためのヒントです」と講師小玉精子氏は語る



12月9日～17日、麻生老人福祉センターにて作品展開催。一年間の力作が勢揃いする

あさみかい 麻美会

代表：小山 光明

講師：小玉 精子

白亜美術協会本部委員
川崎美術協会運営委員

連絡先：小泉一明

Tel&Fax 044-988-3943

石橋信和

Tel&Fax 044-989-0383

佐藤絢子

Tel&Fax 044-953-1213

設立：1990年3月

会員数：29名(男性18名 女性11名)

* 会員募集中(60歳～)

入会金：なし

会費：1500円/月

活動日：(原則)月2回10～12時

活動場所：麻生老人福祉センター

写生会：第3水曜(自由参加)

* 場所は講師選定

* 12月16日リエンベルグ周辺
(上麻生4丁目洋菓子店)

取材・文 区民記者 落合ふみこ

取材申込受け付けます!

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」
そんな声に記者が応えます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

1. 団体名
2. 代表者名
3. 連絡先(電話・FAX・メール)
4. 活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

Mail info@asao-ku.net

※申込み内容については編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>

